

きつかけは、お茶の間での俳句 地域の元気につながった「波の会」

月2回、塩釜ガス体育館で「波の会」が活動しています。約10人の会員が、季節の俳句を5句ずつ持ち寄り、批評など意見を出し合っています。

この「波の会」が始まったきっかけは、自宅で始まったお茶の間俳句でした。当時、ダンベル体操教室の参加のお誘いをしていた今野紀美子さんが、腰痛などの理由で参加できなかつた池田智恵子さんと、横田みち子さんの三人でお茶の間俳句を始めました。そこから参加人数が増えていき、現在の活動につながりました。



▲俳句の話になると全員笑顔が絶えません



▲池田さん、横田さん、斎藤豊子さん



▲及川源作さん、今野さん

今野さんは「波の会」として、月2回活動していますが、それでは足りないの、お茶の間俳句も続けています。それぞれが参加した句会の情報を、お茶の間に持ち寄って再現し、いつでも、どこでも、楽しく俳句を勉強しているんですよ」と話しました。続けて、池田さんが「この年齢になって、学生さんのときより辞書を引いています。時間があつという間にすぎて、体が痛いことを忘れてしまいますよ」と、笑いながら話してくれました。

運動では参加できない…というきつかけでも、新たな交流が生まれ、地域の全体の元気につながっています。皆さんも、ちよつとしたきつかけを利用して、新しい活動を始めてみてはいかがでしょうか。

しおがまの昔・懐かし

思い 出写真館 ⑨

お正月の遊びといえば、福笑い、コマ回し、羽子板、そしてたこ揚げ。

今月はお正月遊びの中から、たこ揚げの写真を紹介します。昭和57年1月に杉の入小学校の校庭で行われたたこ揚げ大会の様子です。当時、冬休みの宿題の中にたこを作るといふものがあり、新学期にたこ揚げ大会を行っていたそうです。たこ揚げ大会に参加していたという方からは、「父と試行錯誤してたこを作りましたが、風を捉えるのがとても難しく、自分のはくるくる回るだけでした。上級生が作ってきた立体たこがとても独創的だったのが印象に残っています」と思い出を語っていただきました。

お正月はたこ揚げやコマ回しなど昔ながらの遊びを楽しんではいかがでしょうか。

(たこは周りの安全確認をし、禁止場所では揚げないようにしましょう)



主に昭和40年代から平成10年頃までの塩釜の写真を募集します。この年代以外でも懐かしい写真がありましたら、ぜひお寄せください。詳しくは市ホームページをご覧ください。か、政策課市政情報係(☎355-5728)まで問い合わせください。

彩香きもの学院 2月18日(火)開講! 【全11回】

日本の文化「きものと着付け」について学んでみませんか?

受講料 500 円のみ

会場：多賀城市民サポートセンター 多賀城市中央2-25-3
時間：①10:00-12:00 ②13:00-15:00 ③18:30-20:30 のいずれか

お申込受付 022-796-6659

彩香きもの学院

検索

